

第26回
FDフォーラム
報告集

第9分科会

若手研究者からみた「大学改革」
—アフターコロナの時代を見据えて—

報告者

崎山 直樹 氏 千葉大学大学院 国際学術研究院 准教授

成瀬 尚志 氏 大阪成蹊大学 経営学部 准教授

古川 雄嗣 氏 北海道教育大学 教育学部旭川校 准教授

コーディネーター

水田 大紀 氏 佛教大学 歴史学部 准教授

P1～ 趣旨説明 水田 大紀 氏

P3～ 報告1. 責任主体なき大学改革を変えるためには？ 崎山 直樹 氏

P12～ 報告2. 大学改革から取り残されてきたレポート課題 成瀬 尚志 氏

P21～ 報告3. PDCAサイクルと大学入試改革 古川 雄嗣 氏

若手研究者からみた「大学改革」

——アフターコロナの時代を見据えて——

第9分科会の趣旨

1990年代以降、文部科学省が主導する「大学改革」が急速に進められてきた。現在も変化の途上にある大学の教育現場において、「これから大学はどうなっていくのか」を最も危機感を持って受け止めざるを得ないのが、いわゆる「若手」と呼ばれる30-40代の大学教員・研究者である。この傾向は2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大によってオンライン授業や対面授業とのハイブリッド等が「新常態」化していく中、より強くなってきている。それはこの世代が、大学改革や大学教育の最前線で、内外から**新しい状況への対応や実践**を最も期待される層だからである。

そこで本分科会では、昨今のコロナ禍の影響を踏まえ、この世代にとっての**今後の大学のあり方や大学教育のより望ましい方向性**について、批判的に検討することを通じ、アフターコロナの「大学改革」について考えていく。そしてそれにより、アフターコロナの時代に社会から求められる、大学の理念や存在意義についても問いかけていきたい。

(水田大紀)

報告者の紹介とタイムスケジュール

• 10:01-10:05	趣旨説明	水田 大紀(佛教大学)
• 10:05-10:30	第1報告	崎山 直樹 氏(千葉大学)
• 10:35-11:00	第2報告	成瀬 尚志 氏(大阪成蹊大学)
• 11:05-11:30	第3報告	古川 雄嗣 氏(北海道教育大学)
• 11:35-11:40	(休憩)	
• 11:40-12:00	質疑応答	

責任主体なき大学改革を変える ためには？

千葉大学大学院国際学術研究院
准教授 崎山直樹

コロナ禍での大学

- 2020年度という「厄年」
 - 東京オリンピック・パラリンピック協力のための学事暦変更
 - 第一回共通テスト実施
 - COVID-19のパンデミックで当たり前のことすらできない

大学改革と「世代」

- 90年代 国立大学教養部解体
- 00年代 国立大学独法化
- 10年代 循環する改革期（迷走するPDCA）
- 20年代 ポストコロナを目指して？

学部入学：普遍教育一期生

大学院GP

日本学術会議事務局上席学術調査員

質保証「分野別参照基準」

グローバル人材育成

SGU

学部新設

大学院学位プログラム新設

大学改革のゴール？

- 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」答申（2018年11月）
- http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360.htm
 - 6つのセクション
 - 「2040年の展望」「多様性と柔軟性が確保された教育研究体制」「教育の質の保証と情報公表」「18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置」「各高等教育研究機関の役割」「コストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充を通じた高等教育を支える投資」

提示される未来の課題

- 持続可能な開発
- 第4次産業革命
- Society5.0
- 人生100年時代
- 更なるグローバル化
- 地方創成
 - 全部大学が関わらなきゃダメ？少子化なのに？少子化だから？

重責を追わされているにも関わらず

- 「規模や地域配置」
- 「コストの可視化」
 - 統廃合やコストダウンが大前提に

コストはむしろ掛かる？

- 例えば**質保証**：基本線としてはアウトカムズ評価へ
 - 学習効果についてはそもそも測っていない。何をどう測るか、そのすり合わせから
 - 測れないから**学修時間**に注目しているのでは？
 - 学修時間ちゃんと確保したら**年間何単位履修可能な**のか？
 - 教員は何科目担当できるのでしょうか？
 - そもそも何を根拠に立案しているのか？

「AIを活用した、日本社会の未来と高等教育に関するシミュレーション」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/siryo/1411277.htm

- 文部科学省高等教育局、京都大学こころの未来研究センター、日立製作所基礎研究センタ日立京大ラボが協力し作成
- 「2040年の高等教育の在り方について、社会に関する様々なキーワード、例えば高齢人口、出生率、GDPといった指標と、高等教育関連のキーワード、例えば、教育の質、学力、教育投資といった指標との間の因果関係を統合し、相関関係モデルを構築し、これらに基づいたシミュレーションの結果をまとめたものである」
- 「2万通りのシミュレーションは**大きく8つのシナリオ**に収斂」

8つのシナリオ

- ・ 「持続可能性が高く、社会的パフォーマンスも高く、高等教育も充実している」 (シナリオ1,2,3)
- ・ 「持続可能性は中程度、社会的パフォーマンスも中程度、高等教育の充実も中程度」 (シナリオ4)
- ・ 「持続可能性は低く、社会的パフォーマンスも低く、高等教育の充実もしていない」 (シナリオ5,6,7,8)
- ・ これらのシナリオは、**「9年～10年後 (2027年～2028年) 頃」と「16～17年後 (2034年～2035年) 頃」**に分岐するとされる。

「持続可能性は低く、社会的パフォーマンスも低く、高等教育の充実もしていない」シナリオ

- ・ 社会に関しては、「人口」や「地域」の指標が現状よりも低調であり、高等教育については**「教育の質」「大学進学率」「地方大学の振興」**が低調な場合、そのような状況に陥ると予測されている
- ・ 大都市を中心とした**「都市（一極）集中型」**よりも、**「バランスの取れた地方分散（均等発展）型」**が望ましいとされる
- ・ じゃあ実際どうなっている？

コロナ禍における大学改革をめぐる言説

ウィズコロナ・ポストコロナ時代の大学教育について 新型コロナの拡大を契機に、教育・研究のオンライン化が加速した。

対面授業の利点は活かしつつも、オンライン授業の有意義な部分を伸ばしていくことが必要である。

オンライン授業と大学間の単位相互認定がより進展すれば、学生は他大学の授業をより容易に履修することが可能となる。オンライン授業について修得単位数の上限を撤廃すること等を通じ、大学間のみならず、授業単位で競争原理を働かせていくことが重要である。

さらに、対面授業を前提とした現在の大学設置基準(学生数、教員数、校地面積)を根本から見直すとともに、国立大学の再編の検討の契機としていくべきである。

「令和3年度予算の編成等に関する建議」(2020年11月25日) https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/report/zaiseia20201125/01.pdf p. 66

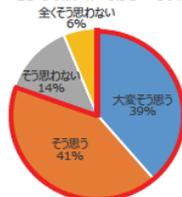
ポストコロナにおける大学教育について

資料Ⅱ-3-16

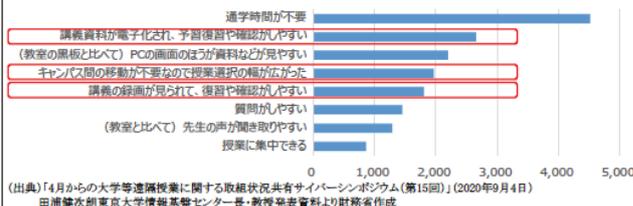
- 新型コロナ感染症拡大をきっかけに教育・研究のオンライン化が加速。対面授業の良い点を活かしつつ、オンライン授業の有意義な部分を伸ばすことが必要。
- オンライン化と単位相互認定が進展すれば、学生は他大学の授業を容易に履修することが可能となる。オンライン授業による修得単位数の上限の撤廃等を通じ、大学間のみならず授業単位で競争原理を働かせることが重要。
- さらに、対面授業を前提としている「大学設置基準」のあり方(学生数、教員数、校地面積)を根本から見直すとともに、国立大学の再編の検討の契機とすべき。

○オンライン授業に関するアンケート結果

今後、オンライン授業を授業形態の1つとして取り入れてほしいですか？



オンライン授業の良かった点



○修得単位数の上限(学部(通学生))

卒業に必要な単位数=124単位



○コロナ禍の特例

遠隔授業について、特例的な措置として、面接授業に相当する教育効果を有すると大学において認められるものについては、自宅における遠隔授業や授業中に課すものに相当する課題研究等を行うなど、強力的な運用を認め、60単位の上限に算入する必要がないことを周知。

○大学設置基準 抄

(収容定員)

第十八条

2 収容定員は、教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を総合的に考慮して定めるものとする。

(専任教員数)

第十三条 大学における専任教員の数は、別表第一により当該大学に置く学部の種類及び規模に応じ定める教授等の数(中略)と別表第二により大学全体の収容定員に応じ定める教授等の数を合計した数以上とする。

(校地の面積)

第三十七条 大学における校地の面積(附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舍の面積を除く。)は、収容定員上の学生一人当たり十平方メートルとして算定した面積に附属病院建築面積を加えた面積とする。

別表第一(抜粋)

学部の種類	二以上の学科(専門職学科を含む。)で組織する場合の一学科の収容定員並(凡)専任教員数	
	収容定員	専任教員数
法学関係	四〇〇—六〇〇	一〇
理学関係	一六〇—三二〇	八

別表第二(抜粋)

	収容定員	専任教員数
大学全体の収容定員	四〇〇人	八〇〇人
専任教員数	七	—二

備考三 収容定員がこの表に定める数を超える場合は、収容定員が四〇〇人を超え八〇〇人未満の場合にあつては収容定員八〇〇人に達する教員一人の割合により、収容定員が八〇〇人を超える場合にあつては収容定員四〇〇人に達する教員三人の割合により算出される数の教員を増加するものとする。

オンライン授業をめぐる方針転換？

- ・ 「本年度後期や次年度の各授業科目の実施方法に係る留意点について」
（文部科学省事務連絡2020年7月27日） https://www.mext.go.jp/content/20200727-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf
- ・ 「新型コロナウイルス感染症への対応のため、次年度の遠隔授業の実施についても、引き続き、60単位の上限への算入は不要とする特例措置を講ずることや、面接授業の再開等、本年度後期や次年度の各授業科目の実施方法に係る留意点についてお知らせします。」
- ・ 秋以降のオンライン授業継続を後押しする文書だったはず
 - ・ 文科大臣の発言は、この時期から対面授業再開を求めるものになっていく。

学生側からの不満の表出

- ・ 「#大学生の日常も大事だ」
- ・ 7月上旬以降、秋以降の方針を発表する大学も多く、それに反発する大学生の声がSNSで溢れていく
- ・ Gotoトラベルの開始（7月22日）も相まって、対面授業を行わない大学への不満が高まる
 - ・ ちなみに5月13日に東京都の感染者数は3人まで減少したものの、7月22日は189人、文書の出た7月27日219人と感染は再度拡大の局面に入っている
 - ・ 一部、無責任な政党・政治家からの支持・賛同

無責任なマスコミの報道

- そもそも4月から報じられ方がおかしかった
- 例えば4月中旬までの報道：「コロナ禍という困難な状況に立ち向かう大学を賞賛」
 - 「東大、講義4000超オンラインに 「授業の工夫一段と」」（日経新聞、4月17日 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58142250W0A410C2000000/>）
- 4月下旬：学費返還要求
 - 「「#学費返還運動」に苦慮する大学～就実・明治学院は神対応も」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/ishiwatarireiji/20200423-00174838/>

「質が低下したオンライン授業」

- 多くの大学でまだ授業が始まっていない状況下で、これまでも測定していない授業の「質」が問題とされ、学費返還という話がマスコミで流される
- コロナ禍で困窮している学生生活という話と学費負担軽減という話と教育の質という話は、それぞれ位相が違う
 - 「社会運動」だからOK？
 - 社会運動のフレームとして機能してます？教職員切り捨てる方向が。
 - 誰がどのように「質」を測定したのか？その場合の「質」とは何か？

責任主体なき大学改革を変えるためには？

- 「無責任」な社会
 - 監督省庁、政治家、マスコミ、学生、そして大学そのものも
 - どう大学とどのように関わるのか
 - あるいはそれを通じて社会とどう向き合うのか？
 - 誤魔化さずに関わっていくこと？

大学改革から取り残されてきたレポート課題

成瀬尚志(大阪成蹊大学)
naruse@osaka-seikei.ac.jp

若手研究者からみた「大学改革」
——アフターコロナの時代を見据えて——
2021/2/28@オンライン開催

オンライン授業におけるレポート課題問題

- 課題が多すぎた
- 適当な課題設定
- コピペレポート問題

→レポート課題が十分に設計がなされていない

- これらはコロナにともなって初めて生じた問題だろうか？

→教員の出す課題量が増えた + 課題にまじめに取り組む学生が増えた

レポート課題の重要性

- 授業の理解度を確認するための評価の機会（評価課題としてのレポート課題）
- 学生にとっては「書く」ことの貴重な訓練の機会（学習課題としてのレポート課題）

→かなりの数の授業で出題されている（機会の多さ）

レポート課題が機能していないと大きな問題である

3

学生が剽窃をする理由

Devlin&Gray (2007)による調査

1. 入学時のレベルが低いので、剽窃するしかない
2. 剽窃が何か分かっていない
3. 自分で調べたり、考えたりするスキル、またそのための時間を作るスキルが低い
4. 課題がフェアではない、難しい、できないと感じる
5. 怠惰、剽窃したほうが楽
6. ばれずに剽窃できることが誇らしいと感じる
7. よい成績へのプレッシャー
8. 学習にかかるお金を無駄にできないという感覚（入学費、留年費用、落第した場合の再履修費など）

何をすればよいか
がわからない

学生はなぜ書くのが苦手なのか？



渡辺哲司『「書くのが苦手」をみきわめる—大学新入生の文章表現力向上をめざして』（2010、学術出版会）

書くことを苦手に感じている学生を調査し、苦手と考える理由を分析

5

出題文	芸術家のための空間を建てる場所。
付帯条件	A4紙1枚, 1週間
苦労の内容	漠然としたテーマが与えられ,条件もまったく無い状態で.....その場所がどう適しているのか,その場所から何が得られるかをレポートにするのに苦労した。
科目	空間表現実習(必修)

6

出題文	授業の中で興味をもったことについて,学術文献を読んで理解し分かったことをまとめる。
付帯条件	A4専用紙・2,000字程度,6日間,手書き,インターネットを参考にしてはいけない「感想文」不可
苦労の内容	・・・テーマ設定も抽象化しやすく大変だった たうえ、どこまで自分の意見を入れてよいのかも分かりづらいものだった
科目	共通コア科目:人間性(必修)

7

出題文	あなたの専門分野における擬態と,それを見破る方法について論じよ。
付帯条件	A4用紙1枚,約1週間
苦労の内容	...授業をふまえないで自分の意見を書いていいのか悩み,かといって授業の内容をふまえるとレポートが書けない....
科目	嘘とだましの科学(選択)

8

出題文	外来生物を1種選び、調べたことを書け
付帯条件	1,000字, 1週間
苦勞の内容	レポートは自分の意見や考えを書くものだと思われていたもので、生物について調べたこと以外のことも書かないといけないのか、調べた事実だけでいいのかわからず悩んだ。
科目	共通コア科目:社会性(必修)

9

論題検討の必要性

- 論題があいまいだと学生は**何をすればよいのかわからなくなる** (ex「～について論ぜよ」)。
- 論題があいまいだと**剽窃が増える**
 - 「～について概略を述べよ」という論題では他のもっと具体的な論題よりも剽窃が多かった (花川典子 (2013) 「コピペ対策の実践—コピペ検出システム」、『思考し表現する学生を育てるライティング指導のヒント』、関西地区FD連絡協議会・京都大学高等教育研究開発推進センター編、ミネルヴァ書房)
- **コピペ問題はこれまで学生側の問題と考えられてきたが、実は教員側の問題でもある。**

→web利用を前提とした論題設計の必要性

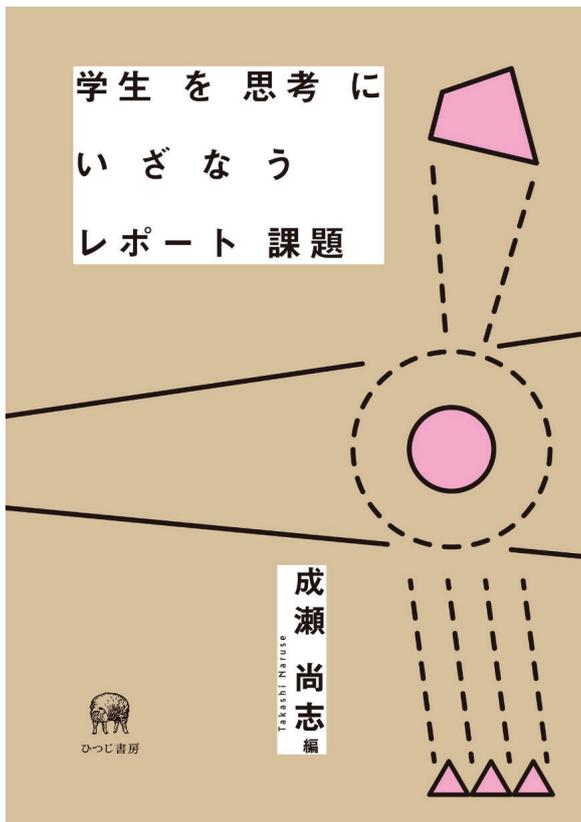
アンケート調査結果は非開示

11

課題（論題）設定の難しさ

- 毎年課題（論題）を見直しているケースが多いにもかかわらず、半数程度の教員が「手応えがない」と感じている。
- （コピペ対策として）実は「手書きレポート」もまだ相当数出題されていると思われる。
- 課題を工夫しようにも工夫の仕方がわからない

12



はじめに

第1章 なぜレポート課題について考えるのか

第2章 論証型レポートについて考える

第3章 レポート論題の設計

第4章 レポート課題を軸とした授業設計

第5章 学生が自分で問いを立てるための授業デザイン

第6章 レポート課題を評価するとき

おわりに

成瀬尚志編『学生を思考に いざなう レポート課題』ひつじ書房、2016

13

レポート（課題）とは何か？

- 「正義とは何かについてAさんとBさんの対話形式で説明しなさい」

→対話編型論題はレポート課題と言えるか？

（「○○について、漫才の台本の形で説明しなさい」は？）

- 「○○の原因について50字程度で説明しなさい」

→レポートとは特定の型（「序論・本論・結論」「目的・方法・結果・考察」等）に沿った形式のことを指すのではないか？

14

アンケート調査結果は非開示

15

調査から見えてくること

- 教員のレポート観（レポートとはどういうものか？どういうレポートが評価されるべきか等）は多様である
- （論題の工夫以前の問題として）このレポート観の多様性に関する教員の自覚の欠如が、レポートが機能していない理由なのかもしれない。（狙いとのズレ）
- 学生からすると何が評価されるのか、きちんと説明されないとわからない（たくさん書けばよいのか、簡潔に書けばよいのかなど）
- 授業に応じて課題設定を複数の選択肢の中から出し入れできるようにすることが必要

16

まとめ

- これまでの大学改革では目新しいものが注目されてきた。
- しかし足下の取り組みで見直すべきものも多いのではないか？（ブラックボックスになっているものもいまだに多いのではないか？）
- アフターコロナを見据えても、レポート課題の重要性はさらに増す一方であるため、レポート課題に関する現状把握と改善は急務である。

PDCAサイクルと大学入試改革

古川雄嗣

(北海道教育大学旭川校)

自己紹介



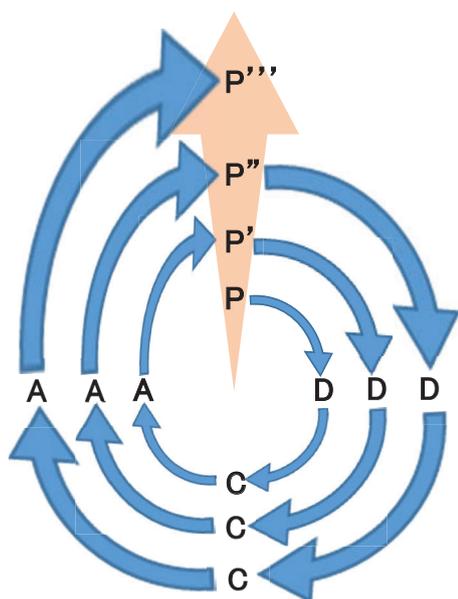
『反「大学改革」論—若手からの問題提起』(ナカニシヤ出版、2017年)

「はじめに」「第1章 PDCAサイクルは「合理的」であるか」を執筆

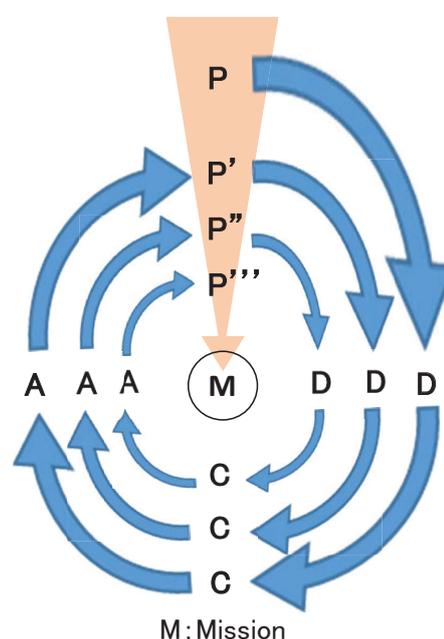
「本来の」PDCAサイクルと「いわゆる」PDCAサイクル

- PDCA (Plan-Do-Check-Act) のPは、「目標と計画」を指しているのか、それとも「計画」だけを指しているのか。
- 「目標と計画」を指す場合、自律的・自己管理型のマネジメントシステム（「本来の」PDCAサイクル）
- 「計画」だけを指す場合、「目標 (M: Mission)」は外部から与えられる。トップダウン型のマネジメントシステム（「いわゆる」PDCAサイクル）。
→政府・文科省による大学支配のためのツールとして「悪用」。

Pが「目標と計画」の場合
（「本来」のPDCAサイクル）



Pが「計画」だけの場合
（「いわゆる」PDCAサイクル）



「いわゆる」PDCAサイクルの問題点

- 仮に、政府・文科省が教育目標を立て、トップダウンで下ろすとしてもその場合、政府・文科省自身が正しい意味でのPDCAサイクルを回して政策立案をしているか？ 政府・文科省自身においても、本来のPDCAサイクルが回らなくなっているのではないか？
- ① 政府は「目標」だけを立て、それを達成するための具体的な「計画」までは示さない(示す必要がない)。
- ② 政策の可否に関する責任が現場に押し付けられる(「目標」そのものは間違っていない、それを達成するための「計画」が不十分だからうまくいかない、だからもっとPDCAを回せ、という論理)。
- ③ 政府が一度立てた目標を反省・修正する契機が失われる。

PDCAサイクルと大学入試改革

- これらの問題点が如実に現れたのが、大学入試改革だったのではないか。
- センター試験の廃止は、それが「『知識・技能』を問う問題が中心」であったという「反省」に基づき、したがって「『思考力・判断力・表現力』を中心に評価する新テスト」を導入すべきとする中教審の答申(2014年)による。
- しかし、この根拠はきわめて不明確。センター試験に対する「評価・反省」のプロセス(専門的・実証的な検証)をまったく経ておらず、単なる「素人」の「思い込み」と「思い付き」以上のなにもものでもない、という批判が噴出。
- そもそも、「思考力・判断力・表現力」等というスローガンは、いわゆる「新しい学力観」(1992年)以来、掲げられてきたスローガン。この30年来、政府・文科省は、改革が進まないのは現場や現実に改革を阻害する要因があるからであるという認識を繰り返し表明してきた。したがって、それを排除する必要がある、という論理に基づき、大学入試改革が浮上。入試が知識偏重だから学校の授業が変わらない、したがって入試を思考力重視に変える、という発想。

PDCAサイクルと大学入試改革

・荒川克弘氏(元・大学入試センター 試験・研究統括官)の批判。

「共通一次試験からセンター試験まで四〇年に亘って共通試験は続けられてきた。その間に問題作成について多数の関係者が多くの時間をかけて議論を重ねてきた。そこへ格別の根拠もなくセンター試験は「知識・技能」の試験だと決めつけられては関係者も驚く。当局者は実際に問題を解いてみれば良いのである。そこに「思考力・判断力・表現力等」が問われていないことを証明することのほうがむずかしいだろう。どのような意図でこのような言いがかりを答申に盛り込んだのか、疑問というよりも不可解である」(荒川克弘「大学入学共通テストの現在」『現代思想』第48巻第6号、34頁)。

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問 ベーコンは、正しい知識の獲得を妨げるものとして四つのイドラを挙げた。次の会話において、「劇場のイドラ」に囚われていると読みとれるのは誰であるか。下の①～⑧のうちから一つ選べ。(センター試験・1999・本試験)

妹(中学生): たまたまテレビをついたら、大学の先生がしゃべってたわ。なんだか面白くて、最後まで見ちゃった。その先生はねえ、プラトンという哲学者を研究してるんだって。そして、アイデアというものが存在しているって言ってたよ。お兄ちゃん、プラトンやアイデアなんて知っているの？

兄(高校生): プラトンというのは、有名な古代ギリシアの哲学者だよ。アイデアってのは、一口で言うとなえ、事物の本質としての理念的な実在、とでもいうとこかな。倫理の時間に習ったよ。

母: お兄ちゃんは、事物の本質としての理念的な実在なんて偉そうに言うけど、わかってんのかな。ところで、その大学の偉い先生、本当に自分でもアイデアが存在していると思ってるのかしら？ わたしたちのふだんの生活では、アイデアなんて意味があるとはとても思えないわ。

妹: じゃあ、お母さん、プラトンは間違っているの？ お父さんはどう思う？

父: お父さんは、アイデアかどうかは知らないけど、なにか理想的な本物の世界というのは、あってもおかしくないと思うよ。

母: そう思うのはお父さんの性格からじゃないかしら。昔から何事も理想化しないと気がすまない性分だったからね。

兄: お父さんもアイデアみたいなものはあるって言うし、倫理の教科書や高校の先生の説明もわかったな。やっぱりアイデアはあるんだよ。

母: そうかしら。

妹: みんなの話を聞いてたら、なんだかよくわからなくなっちゃった。せつかく面白い考え方だと思ったのに。

- ① 妹 ② 母 ③ 兄 ④ 父
⑤ 父と妹 ⑥ 母と兄 ⑦ 父と兄 ⑧ 母と妹

(正解は③)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問 論理を展開する方法の一つに演繹法がある。正しい演繹的な推論として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(センター試験・2020・追試験)

- ①雨が降れば、自宅の中庭は必ず濡れる。今日起きたら、自宅の中庭が濡れていた。よって、朝方、雨が降っていたのだろう。
- ②今日は雨が降っており、自宅の中庭が濡れている。先週も先月も雨が降ったときはそうだった。よって、雨が降れば、自宅の中庭は濡れるのだ。
- ③雨が降れば、自宅の中庭は必ず濡れる。今日は雨が降っている。よって、今日、自宅の中庭は濡れているはずだ。
- ④雨が降れば、自宅の中庭は必ず濡れる。今日は雨が降っていない。よって、今日、自宅の中庭は乾いているはずだ。

(正解は③)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問 物事に対する偏った見方の一つにステレオタイプがあるが、ステレオタイプに当てはまる発言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。(センター試験・2019・本試験)

- ①男性は、物事を論理的に捉えるのが得意で、機械を組み立てたり修理したりするのが好きだよね。
- ②塩気の多い食事ばかりしていると、高血圧になりやすいから、バランスのよい食事をした方がいいよ。
- ③昔、星座を考えた人がいたんだよね。電気がない昔は、夜空に輝く星々が今よりずっとよく見えただろうね。
- ④あの人、初めて会った人にでも気楽に声をかけるよね。人と喋るのが好きだと自分で言っていたしね。

(正解は①)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問 カントにとって、道徳的な人とはどのような人か。次の文章を参考にしながら、その事例として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。(センター試験・2020・追試験)

無制限に善いと思ないうるものとしては、世界の内でも外でも、ただ善き意志しか考えられない。……善き意志は……意図された目的の達成に役立つことによってではなく、ただ意志することによって、つまり、それ自体で善いのである。

(カント『道徳形而上学原論』)

- ① Aさんは商売で客を公平に扱うことにしているが、それは、そうすることで信用が得られると考えているからである。
- ② Bさんは絶望的な状況にあっても死を選ばなかったが、それは、生き続けることが人間の義務であると考えたからである。
- ③ Cさんはいつも他人に親切であろうと努めているが、それは、他人からも親切にされたいと考えているからである。
- ④ Dさんはある嘘をついたが、それは、自分が嘘をつけば友人が助かることを知り、友情を大切にしたいと考えたからである。

(正解は②)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

(プレテスト・2018)

問 8 下線部⑤に関連して、次のノートは、生徒が「倫理」の教科書を参考にしながら、ユダヤ教、キリスト教、イスラームを特徴づける事項について整理したものの一部である。ノートの三つの宗教を共通に特徴づける事項の に入る語句として適当なものを、下の①～⑧からすべて選べ。

ユダヤ教を特徴づける事項 ・ 選民思想 ・ 律法(トーラー) ・ 嘆きの壁	キリスト教を特徴づける事項 ・ 世界宗教 ・ 神の子 ・ 『新約聖書』	イスラームを特徴づける事項 ・ 世界宗教 ・ 六信五行 ・ 『クルアーン(コーラン)』
三つの宗教を共通に特徴づける事項 ・ 全知全能の神 ・ <input type="text" value="X"/>		

- | | | | |
|----------|--------|--------|-------|
| ① 折り | ② 四書五経 | ③ 預言者 | ④ 多神教 |
| ⑤ 神からの啓示 | ⑥ 出家 | ⑦ 徳治主義 | ⑧ 一神教 |

(正解は①③⑤⑧)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問2 次ページのノートは、次の絵に関する先生の指摘と、高校生Bがこの絵を見て感じた疑問、さらにその疑問についてB自身が調べた結果を書き留めたものである。ノート中の「a」・「b」に入る記述の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 [10]



ノート

先生の指摘

- ・右下の屋敷内に手を合わせた人物がいる。
- ・右下の人物のもとへ雲に乗った仏や菩薩たちがやって来ており、その中心にひとときわ大きな仏が描かれている。

感じた疑問

- (i) ひとときわ大きな仏は、何者なのか。
- (ii) この仏や菩薩たちは、何をしにやって来たのか。
- (iii) どうしてこのような絵が描かれたのか。

調べた結果

- (i) ひとときわ大きな仏は、阿彌陀仏である。
- (ii) この仏や菩薩たちは、「a」ためにやって来た。
- (iii) 平安時代後期から鎌倉時代にかけて、「今は「b」時代なのだ」と強く意識された。そのような時代には、阿彌陀仏の力に頼るしかないと考えられたため、このような絵が描かれた。

(共通テスト・第2問)

- ① a 右下の屋敷内の人物を極楽往生に導く
b 仏の教えだけが残っており、正しい修行も悟りもない
- ② a 右下の屋敷内の人物を極楽往生に導く
b 仏の教えとそれに基づく修行のみが存在し、悟りのない
- ③ a 右下の屋敷内の人物に現世利益をもたらす
b 仏の教えだけが残っており、正しい修行も悟りもない
- ④ a 右下の屋敷内の人物に現世利益をもたらす
b 仏の教えとそれに基づく修行のみが存在し、悟りのない

(正解は①)

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

第4問 高校生PとQが交わした次の会話を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。なお、会話と問いのPとQは各々全て同じ人物である。(配点 28)

(共通テスト・第4問)

- P: 昨日の世界史の小テスト、難しかったよね。①歴史を覚えるのは苦手だなあ。
 Q: そう? 楽勝だったけどな。それにしても、「歴史を覚える」だなんて言っちゃって、歴史の本質が分かってないね。だからテストもできないんだよ。
 P: 意地悪な②性格だなあ。過去の事実を正しく記録したのが歴史でしょ?
 Q: いや、この前、倫理の先生と歴史について議論したんだけど、歴史って、過去をありのままに書いたものではなく、見方次第で様々な書けるんだって。
 P: 確の歴史を作るの? ③マスメディアで話題のフェイクニュースみたいに?
 Q: 違う違う。過去の「どの」出来事を「どう」書くべきかに正解がないってこと。
 P: 過去の理解が人によって違うって話? 世界史のテストが楽勝だった誰かさんには、昨日は良い日だっただろうけど、自分には最悪の日だったように。
 Q: 過去の理解が人によって違うだけじゃないよ。一つの過去でも多様に理解できるんだ。例えば、世界史では④落ち込んだけど、昨日はPが得意な英語のテストもあったよね。英語にも目を向けたら、同じ昨日を違う仕方で諦めるよ。
 P: そんなのは個人の次元の話じゃないか。国や社会の歴史も自由に書くの? それだと正しい歴史がなくなってしまうよ。
 Q: 正しい歴史なんて一つに決められる? 国の偉い人が決めたら正しいの?
 P: いやいや、⑤立場や境遇が異なる様々な人が議論していくのが大切だよ。
 Q: ほら、立場の違いに応じて歴史の書き方が複数あると認めているじゃないか。
 P: でも、史料を厳密に研究すると、正しさを高めることはできるはずだよ。
 Q: 史料の意義は否定しないよ。でも、史料の取捨選択や解釈は避けられないよ。
 P: だとすると、何でも恣意的に取捨選択していいの? 例えば、戦争などの⑥犠牲者を歴史から消してはダメだよ。⑦記憶すべき事実はあると思うな。
 Q: うーん、それは確かに…。ただ、過去を多様に書くというのは、忘れられつつある人々に新たに光を当てて歴史を書くことにもつながるんじゃないかな。
 P: そうか、過去を多様に書けるからこそ、よりよく書くこともできるわけか。
 Q: いやあ、⑧歴史をどう書くべきかは難しいね。自分ももっと考えないと。

センター試験・プレテスト・共通テストの比較(公民科「倫理」を題材に)

問 8 下線部①に関連して、倫理の授業の中で、思想家ベンヤミンが歴史の書き方について論じた次の文章を踏まえて、各自が自分の考えをレポートにまとめることになった。下の①・②に答えよ。

年代記を書く人は、様々な出来事を、大小の区別を付けずにそのまま列挙していく。そのことによって、かつて起こったことは何一つ歴史にとって失われてはならない、という真理を考慮に入れているのだ。ただ、人類が自らの過去を完全な姿で手中に収めることができるのは、人類が解放されたときである。……そのとき、人類の生きたあらゆる瞬間が、呼び戻されることになるのだ。

(「歴史の概念について」より)

(1) 次の会話は、この文章を読んだPと先生Tが交わしたものである。会話中の下線部①～④のうちから、マルクスについての説明として適当でないものを一つ選べ。 32

P：先生、ベンヤミンが言う「解放」って何のことですか？

T：そこには様々な意味が込められていますが、この言葉の背後にある思想の一つは、マルクス主義です。マルクスの歴史観を覚えていませんか？

P：マルクスは、①歴史を弁証法的に捉えるヘーゲルの影響を受けているんだでしたね。そして、彼は②物質的な生産関係という上部構造が歴史を動かす原動力になると言っていたはずですが。その上で彼は、③対立する階級間の闘争によって歴史は発展すると考えたんです。だとすると、「解放」は、マルクスが④労働者階級による革命が起こることで資本主義が打破されると主張したことと関係がありそうですね。

T：よく理解していますね。でもね、一つだけ間違いがありましたよ。

P：あれえ、どこだろう。

② 次のレポートは、Pがベンヤミンの文章を読んだ上で書いたものである。66ページの会話を踏まえて、レポート中の①～⑤に入る記述を下のア～ウから選び、その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑤のうちから一つ選べ。 33

レポート

ベンヤミンは、ファシズムの時代の中でそれに抵抗し、歴史について考察した人です。彼の文章は、歴史について考えを深める良い機会となりました。この文章を読みながら、先日、Qと議論したことを思い出しました。もともと私は、①aと考えていました。ですが、Qとの議論を通して私は、②bという考えを学ぶことができました。それを踏まえてベンヤミンの文章を読んでもみると、③cという彼の主張は、私たち二人の議論を深めるものだと感じました。

ア 歴史は、様々に書くことができるものであり、だからこそ、忘れられつつある人々を再び思い出させる歴史を書くこともできる

イ 歴史は、どの出来事にも意味があるものであり、現時点ではその全てを書くことはできないにせよ、過去のどの出来事も忘れてはならない

ウ 歴史は、過去に起こった様々な出来事を正しく記録したものであり、そこには正しい書き方が存在する

① aーア bーイ cーウ

② aーア bーウ cーイ

③ aーイ bーア cーウ

④ aーイ bーウ cーア

⑤ aーウ bーア cーイ

⑥ aーウ bーイ cーア

(正解は⑤)